



NOV.2008

VOL.145

かしわ市議会だより

第 145 号

平成 20 年 11 月

発行 柏原市議会

編集 市議会だより編集委員会

柏原市 安堂町1番55号

電話 972-1501(代表)

FAX 971-8932

Eメール gikai@city.kashiwara.osaka.jp

就任ごあいさつ



堅木 照久 監査委員



乾 一 副議長



中村 幸平 議長

平成20年第3回柏原市議会定例会は、9月3日から10月2日までの30日間の会期で開きました。10月2日には役員改選を行い、選挙により議長に中村幸平議員を選出し、また、副議長に乾 一議員、議会選出監査委員に堅木照久議員をそれぞれ全会一致で選出した後、各委員会委員、各特別委員会委員などの改選（6ページへ掲載）を行い、閉会いたしました。

市民の皆さまには、平素から市政並びに市議会に對しまして温かいご理解とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

私たちは、10月2日の本会議におきまして、議長、副議長、監査委員に就任させていただくことになりました。

まことに身に余る光栄であるとともに、その責任の重大さを痛切に感じているところであります。

もとより微力ではございますが、柏原市の発展と市民福祉の向上のために、全力投球で最善の努力を尽くしてまいれる所存であります。

現在、柏原市を含め地方自治体を取り巻く環境は大変厳しくなっております。議会改革を推進する一方、議会本来の機能を十分に発揮し、本市の特色であります自然の美を活かし、市民の皆さまが安全で安心して暮らせるまちづくりを確立させるため、誠心誠意努力してまいりますので、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます、就任のごあいさついたします。

議会役員を改選

議長に中村幸平議員・副議長に乾 一議員

監査委員に堅木照久議員を選出

議会 日誌

平成20年（2008年）

8月	3日	12日	18日	19日	21日	22日	27日	9月	2日	3日	5日	11日	12日	18日	19日
農業委員会	大阪府市議会議長会理事會	幹事長會	市制施行50周年記念表彰審査會	宮崎県延岡市来柏臨時農業委員会	大阪府市議会議長會総會	幹事長會	議会運営委員会	政務調査費検討會	定例本会議（議案説明）	幹事長會	幹事長會	幹事長會	農業委員会	定例本会議（議案質疑、一般質問）	幹事長會
24日	25日	26日	29日	10月1日	2日	7日	8日	9日	10日	14日	29日	30日			
総務文教委員会・協議會	市民福祉委員会・建設産業委員会・協議會	幹事長會	議会運営委員会	幹事長會	定例本会議（各委員長報告、採決、役員改選）	市議会だより編集委員会	岐阜県中津川市来柏	神奈川県大和市来柏	市議会だより編集委員会	茨城県常総市来柏	埼玉県行田市来柏	広島県府中市来柏	千葉県八千代市来柏		

市民にやさしい安心できる まちづくりをめざして

活発な議論を展開

今定例会では九月十八日・十九日の両日に条例制定案、補正予算案などについて質疑及び市政一般に対する質問を行いました。主な内容は次のとおりです。

国分の

都市計画道路は！ 自由民主党新進

問 国分の東西を結ぶ都市計画道路田辺旭ヶ丘線の進捗状況について問う。

答 この都市計画道路田辺旭ヶ丘線は、国道25号から府道柏原駒ヶ谷千早赤阪線を結ぶ465メートルを整備する事業であり、平成7年に事業認可を受け、現在、用地取得について鋭意努力している。

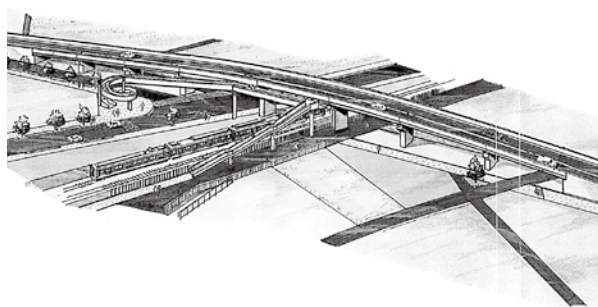
平成17年に事業着手後10年を経過したため、国土交通省の再評価実施要領に基づき、第三者機関による再評価を行ったところ、事業継続の意見を受けた。その後、平成19年度末の用地取得率は約81％となり、未買収用地は、国道25号や府道柏原駒ヶ谷千早赤阪線の交差点部分が大きく占めていることから、大阪国道事務所及び大阪府と連携を取り、交渉を進めたいと考えている。引き続き財源確保に

努めるとともに、残る事業用地の取得に全力を尽くす。

要望 東西道路網の整備は柏原地区、国分地区共通の課題である。国道25号、国道165号の渋滞が

幾分か緩和されたが、南阪奈高速道路の影響もあり全体としては、現在も渋滞問題を抱えている。

以前、自民党柏原議員団で大阪府に陳情を行ったが、その折、府は、国分西から五十村橋までの府



田辺旭ヶ丘線跨線橋完成イメージ図

道の拡幅についても、柏原市の都市計画道路田辺旭ヶ丘線に整合性を持つて進めると確約された。今後、それらの用地買収においても、早期実現するように引き続き府との調整に努めていただきたい。

入札問題の

説明について 自由民主党新政新会

問 今回の予定価格(高値入札)での入札が続いた経過について問う。

答 1回目の入札が昨年10月16日、2回目の入札は12月3日、両日とも疑問を感じ、弁護士に相談したが確たる証拠がないとのこととで静観した。3回目の今年の1月11日の入札でも同じ結果となり、公正取引委員会及び警察に相談した。その後、2月4日、12日の入札を終え、同月20日に、正式に公正取引委員会に通知した。

問 これまでと同じ業者が、急に高値で揃って入札したことを、

証拠がないからといって、いつまで放置するのか。危機意識の欠如である。なぜもっと早期に止めることをしなかったのか、理解できない。

市に対する損害があると考えますが、どう対応するのか。

答 刑事処分が確定され次第、損害賠償請求を行いたいと考えている。

問 市の関与はなかったのか、議会の場ではつきりと答弁いただきたい。

答 市の関与については、一切ない。

要望 今後の入札については、予定価格の事後公表、同族会社の入札参加回避、違反者に対する契約解除、違約金、賠償金の明記などを検討し、職員の意識改革を行うなど、二度とこのような対応の遅れがないように努めていただくことを要望する。

疑惑入札への対応

市民・自民クラブ

問 逮捕者まで出た参加業者全てが予定価格で応札し、抽選で落札業者を決めた水道工事等11件の疑惑入札について、行政をチェックすべき議員が、市からの報告がなかったとはいえ、見逃していた

ことを市民の皆さんにお詫び申し上げる。なぜ早期に入札を中止し、業者を聞き取りなど調査しなかったのか問う。

答 最初の10月、及び12月入札後、市顧問弁護士に相談し、対応は進めたが、結果的に判断が遅れた。最初の場合、談合情報がないことや入札参加業者が4社と少なく、偶然もありうると考え、また、今までに例のない手法で、確たる

徹底した

原因究明を！

公明党

問 今回の不正入札事件の起こった原因、入札終了後に契約者が逮捕されたがどうするのか、なぜ議会に報告がなかったか問う。

答 談合の原因だが、本市ではこれまで、入札及び契約内容などの透明性を確保するために、予定価格と最低制限価格を事前に公表してきた。このような状況において、談合の原因は、業者の考え次第であると考ええる。しかしながら、今回11件の入札を執行したところについては、本市がそれぞれの局面において対応を慎重に進めた結果であると思われる。

次に、逮捕された業者が逮捕前に請け負った工事の今後の方針に

証拠がないため、入札の中止ができないと判断した。また、市からの業者への事情聴取は、弁護士から「談合情報もなく、確たる証拠がない状況で調査した場合、反対に名誉毀損で訴えられることになりかねないので、根拠がない以上調査すべきでない」との回答であり、事情聴取を行うことを見送った。しかし、11件の入札執行後、同様のケースが続いたため今年2

ついで、これらの工事の請負契約書・契約約款には、解除権を明記するものと解除権を明記していないものがあり、こちらについては、本会議終了後の全員協議会にて報告する。

続いて議会に対してであるが、一定の談合に対する判断が出た段階で報告があると考えていた。公正取引委員会に平成20年2月20日に通知したが、結果が出ないまま先の地検の捜査が入った。このことについてご迷惑をおかけしたところにお詫び申し上げる。

要望 とにかく市民の皆様は大変に怒っている。「おかしいな」と何らかのシグナルを察知した際に、即座に対応できる体制があるかが重要である。自浄作用・内部告発ができる環境づくりを要望する。

月20日に公正取引委員会に通知した。

要望 高値の落札で税金を無駄にする、市民感覚からかけ離れたおかしな入札なのに、対応できなかった市の姿勢は容認できない。当初から業者から聞き取りをしていれば、防げたのではないか。このような事態が二度と起こらないよう入札制度の改善も含め強く要望する。

市長の

管理監督責任を問う

日本共産党

問 今回の不正入札事件に関連して、今年4月より予定価格の事前公表を中止するなど、入札制度の変更を議会へ報告しなかったことに対する市の見解について問う。

答 常に公正な入札を行うためその都度入札・契約制度改善検討委員会において審議し、改善に取り組んでいる。

要望 こんな重要なことをなぜ報告しなかったと言っている。議事を軽視しているからである。前市長が、収賄で逮捕された。柏原市民は、本心に、恥ずかしい思いをした。だからこそ、今の市政は、特に公共事業に対しては、公正でクリーンな公共事業への改

革が重要であった。

ただでさえ、この3年間は、財政難を理由にし、福祉や教育の制度を廃止、縮小するなど、市民の皆さんに痛みを押し付けてきたわけである。そういう中で、市民の皆さんの税金を使う、公共事業に對しては、より慎重に公正な入札が求められていた。そして、今回の入札の問題では、市としても不自然さを感じながらも結局11回の入札を執行した。他市の市の職員さんなど色々な意見を聞いたが、今回の事例では、1回目、もしくは、2回目で入札を止め、業者さんから事情を聞くのが、行政の取るべき手段である。対応の遅さが結果的に11回も入札される結果になった。最終的に判断し、指示を出した市長の管理監督責任の問題である。

サンヒル柏原の

存続について

自由民主党政新会

問 国民年金健康保養センター「サンヒル柏原」は、平成22年9月までには、売却される予定と聞いているが、本市が購入する考えについて問う。

答 平成18年に、独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構法に基づき、「サンヒル柏原」も

質疑・質問のあらまし

含め全国の年金福祉施設等328施設を5年間で譲渡・廃止し、譲渡は原則一般競争入札で行うとの説明を、担当者から受けた。

サンヒル柏原は宿泊施設のない柏原市にとってかけがえのない施設であり、都心から近いという利便性の良さと、全国でも有数の利用者の多い施設である。

本市としては厳しい財政状況ではあるが、補助制度など、あらゆる面からの条件整備を進めているところである。

要望 このサンヒル柏原は、平成元年に、国の施設であるということで、府内の自治体で壮絶な誘致合戦が行われた末に、地主の皆さんの協力もいただき、念願叶って建設されたものである。



市民のための利用が望まれるサンヒル柏原

開設以来、20年間柏原市民はもとより、近隣、また全国からも多くの利用者に親しまれてきており、今や、柏原市のシンボリック的存在となっている。特にプールについては、市の代替施設的な役割を担っており、なくす訳にはいかない施設である。

財政的なことも考慮し、取得する方向で検討していただくことを要望する。

引きこもりの 若者達を就労に！ 市民・自民クラブ

問 大阪府の補助金が廃止される地域就労支援事業について問う。

答 柏原市は平成15年度から、府の補助金を使い地域就労支援事業を行い、就労率では大阪府下トップで、平成19年度は相談者98名中64名が就労し、就労率は65.3割（大阪府の平均就労率23・5割）である。特に引きこもり等の若年者の就労を支援し、若年者の相談実績は、平成19年度の相談者60名中31名が就労に結びついた。

また、未就労の若者本人に対する相談と家庭に未就労の若者がおり悩む保護者に対する相談もあわせた「若者の仕事さがし相談会」の開催は本市独自である。就労に導くことで「税収増や社会保険加



就労支援コーディネーターによる相談事業

入増」といった行政の財政面への波及効果も考えられる。

平成20年度からは府は事業補助金を廃止し、交付金化を行ったが、本市はパソコン教室開催等能力開発事業を見直し、コーディネーターによる就労相談事業を継続している。来年度も、府と協議しながら事業の再構築・運営方法等を検討したい。

要望 全国に自慢できる事業であり、府の補助金がなくても事業の継続・拡大を図ってほしい。また、現在の就労支援コーディネーター1名の個人の力量に助けられ、若年者の就労を実現しているが、そのノウハウを継承した担当者が育っていない。計画的に人員を配置して、担当者の育成に努めることを要望する。

小学校教育の 充実を！ 自由民主党新進

問 柏原市が今後進める教育について問う。

答 文部科学省は、本年3月に新学習指導要領を告示した。これに基づいた新教育課程は、小中学校ともに、来年度から準備期間に入る。市内各学校では、地域の特性を生かした「特色ある学校づくり」を推進し、「生きる力」を育む教育を行ってきた。その代表的なものとして、昨年度開校した堅上小中学校での一貫教育がある。1年～9年生で「表現科」、1年～6年生で「えいご科」を新設し表現力を身に付ける学習を進めている。教育委員会としては、堅上小中学校の実践の成果を市内各学校に拡充するとともに、本年度は新たに幼児期を含めた幼小中11年間を見通した教育の研究を進めた。

問 小学校学習指導要領では、国歌「君が代」の取り扱いはどうなるのか。

答 小学校学習指導要領では、国歌「君が代」は、いずれの学年においても歌えるよう指導することとなっている。

要望 教育基本法が60年ぶりに

改正され、公教育の目指すべき理念が明らかにされた。学校教育法の改正をはじめとする教育三法改正がなされ、国、地方、地域、家庭、学校が全力を挙げ、教育再生に取り組みようとしている。教育委員会は教育行政の中心的担い手として役割を果たし、権限を発揮していくことを強く求める。

食育で、

生活リズムを！

公明党

問 食育について問う。

答 大阪府は、府民運動としての食育を一層推進するため、平成19年に大阪府食育推進計画を策定し、これを受けて、各学校では年度当初に「食に関する指導の全体計画」を作成し、全学年を通して食育を推進している。「総合的な学習」の時間では学校園や地域の農園をお借りして、米や野菜などの栽培活動に取り組み、収穫したものを調理して食べるなどの体験活動を通して、自然の恩恵や食材づくりの苦労について理解を深める取り組みを実施している。教育委員会として、正しい食生活の習慣を身につけることは、児童生徒の学習意欲や習慣につながる大切な要素の一つであると考えており、今後とも食育の充実を図っていく。



小学校の楽しい給食の時間

要望 朝、児童・生徒が安全に登校できるように通学路に立っているが、朝ごはんを食べたか聞くと4人に1人ぐらいいは食べていないと答える。これが現実である。学校でも家庭でも食育の推進が必要になってくると考える。

ある学校ではクッキング教室がPTA主催で行われた。学校の先生も参加し、保護者の方々とお子さんが一緒に調理するなかで、食育の体験を通して食の大切さを感じ、また家庭でもやりたいといった声が多く出ており、成果があったようだ。この地道な運動を実践することで生活のリズムができ学力アップにつながると思う。このような取り組みの推進を要望する。

住民税の

年金天引き

日本共産党

問 住民税が年金天引きされた場合の市民への影響について問う。

答 従来は市の窓口や金融機関等に出向くなどして納付していたが、高齢者の納税の便宜を図るとともに、個人住民税の徴収の効率化を図るためであり、対象者は4800人である。

要望 年金から住民税を天引き

することは、利便性が図れるとあるが、行政が、年金からとれば、取りはぐれないという、とるほうの身勝手な都合である。年金受給者の方は、介護保険料に始まり、今年の4月からの後期高齢者保険料、そして国民健康保険料が年金天引きされた中で、非常に大きな怒りがでているのが今の現状である。その中で、政府も後期高齢者医療保険料は一部年金天引きを見直しせざるをえなくなった。

窓口相談に来られる方の声は、「払えないから、待って欲しい」や「分納にして欲しい」等である。年金から自動的に天引きされれば、ものも言えなくなるわけである。実施されると相談に来られる方は今までよりも減ってしまうことが予想される。だから、天引きでは

なく、市民の方と顔をあわせて、色々な相談や苦情を受け、親身に相談にのっていく、まさしくこれこそが行政の仕事である。今まで窓口で対応していただいていたことである。こういうことが今こそ求められ、大切にしなければならぬ。したがって、住民税を年金天引きすることは、認められない。



市役所納税課窓口

本会議・委員会を傍聴しませんか

開会当日、受付にて受付簿に住所・氏名等を記入するだけで簡単に傍聴できますので、お気軽にお越しください。なお、傍聴者の定員は、本会議20名、委員会10名です。

傍聴について、わからない点等がありましたら、議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局

972-1501 (代表)
内線3113・3114

委員会などの構成が あたらしくなりました

< 6 >

総務文教委員会

市長公室・総務部・財務部・会計管理室・教育委員会に関すること。



副委員長
寺田 悦久



委員長
竹田 清一



委員
中村 幸平



委員
乾 幸三



委員
堅木 照久



委員
橋本 満夫



委員
大坪 教孝

市民福祉委員会

健康福祉部・市民生活部・市立柏原病院および診療所に関すること。



副委員長
山下亜緯子



委員長
奥山 渉



委員
鶴田 将良



委員
中野 広也



委員
計盛佐登子



委員
藤森 洋一

建設産業委員会

都市整備部・上下水道部・駅前再開発事務所に関すること。



副委員長
濱浦 佳子



委員長
中村 保治



委員
巽 繁



委員
荒藤 光子



委員
乾 一



委員
笠井 和憲

議 会 運 営 会 委 員	委員長 乾 幸 三	副委員長 堅 木 照 久	橋本 満夫 竹田 清一 寺田 悦久 中野 広也

特 別 委 員 会 等	広 域 行 政 特 別 委 員 会	委員長 寺 田 悦 久	副委員長 大 坪 教 孝	奥山 渉 藤森 洋一 堅木 照久 中野 広也 鶴田 将良
	交 通 対 策 特 別 委 員 会	委員長 奥 山 渉	副委員長 竹 田 清 一	山下亜緯子 橋本 満夫 藤森 洋一 計盛佐登子 乾 幸三
	駅 前 整 備 特 別 委 員 会	委員長 大 坪 教 孝	副委員長 堅 木 照 久	山下亜緯子 藤森 洋一 荒藤 光子 巽 繁 乾 幸三
	議 会 改 革 特 別 委 員 会	委員長 中 村 保 治	副委員長 藤 森 洋 一	竹田 清一 荒藤 光子 計盛佐登子 中野 広也 巽 繁 乾 幸三
	決 算 特 別 委 員 会	委員長 乾 幸 三	副委員長 濱 浦 佳 子	中村 保治 笠井 和憲 竹田 清一 寺田 悦久 荒藤 光子
	市議会だより 編 集 委 員 会	委員長 乾 一	副委員長 奥 山 渉	山下亜緯子 橋本 満夫 中村 保治 藤森 洋一

議 会 選 出 の 派 遣 議 員 ・ 委 員	東部大阪治水対策促進議会協議会委員	大坪 教孝 奥山 渉 橋本 満夫
	大和川右岸水防事務組合議会議員	藤森 洋一
	八尾市柏原市火葬場組合議会議員	濱浦 佳子 中村 保治 藤森 洋一 鶴田 将良
	長瀬川沿岸下水道組合議会議員	竹田 清一 中野 広也
	柏原羽曳野藤井寺消防組合議会議員	奥山 渉 中村 保治 笠井 和憲 乾 幸三
	柏羽藤環境事業組合議会議員	竹田 清一 寺田 悦久 荒藤 光子 堅木 照久 乾 幸三
	藤井寺市柏原市学校給食組合議会議員	山下亜緯子 橋本 満夫 藤森 洋一 計盛佐登子 巽 繁
	柏原市都市計画審議会委員	橋本 満夫 竹田 清一 寺田 悦久 計盛佐登子 乾 幸三
	民 生 委 員 推 薦 会 委 員	奥山 渉 中村 幸平
	国民健康保険運営協議会委員	大坪 教孝 奥山 渉 計盛佐登子 乾 幸三
	地 域 保 健 医 療 協 議 会 委 員	奥山 渉 中村 幸平
	柏原市民文化会館市民劇場委員会委員	山下亜緯子 藤森 洋一
	公 民 館 運 営 審 議 会 委 員	大坪 教孝 中村 保治
	図 書 館 協 議 会 委 員	山下亜緯子 寺田 悦久
	柏原市土地開発公社顧問	濱浦 佳子 橋本 満夫 笠井 和憲 藤森 洋一 巽 繁 鶴田 将良 乾 幸三

9月議会で決めたこと

- ◇専決処分報告（損害賠償の額の決定及び和解について）について
- ◇平成19年度柏原市健全化判断比率の報告について
- ◇平成19年度柏原市資金不足比率の報告について（以上、報告）
- ◇専決処分報告（平成20年度柏原市一般会計補正予算：第4号）について（承認）
- ◇有功者（至田満夫氏）表彰推薦について
- ◇有功者（谷口 彰氏）表彰推薦について
- ◇有功者（嶋原貞夫氏）表彰推薦について
- ◇公平委員会委員（川崎裕子氏）の選任につき同意を求めることについて
- ◇教育委員会委員（西 育代氏）の任命につき同意を求めることについて
- ◇教育委員会委員（三浦 誠氏）の任命につき同意を求めることについて
- ◇固定資産評価審査委員会委員（西村不器雄氏）の選任につき同意を求めることについて
- ◇監査委員（堅木照久氏）の選任につき同意を求めることについて（以上、同意）
- ◇人権擁護委員（北口和子氏）の推薦につき意見を求めることについて（適任）
- ◇工事請負契約の締結について
- ◇寄附の収受について
- ◇柏原市土地開発公社定款の一部変更について
- ◇執行機関の附属機関に関する条例の一部改正について
- ◇公益法人等への職員の派遣に関する条例の一部改正について
- ◇議会の議員の報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について
- ◇柏原市まちづくり応援寄附条例の制定について
- ◇柏原市ふるさと基金条例の制定について
- ◇柏原市老人福祉基金条例の一部改正について
- ◇柏原市市税条例の一部改正について
- ◇柏原市自転車駐車場条例の一部改正について
- ◇平成20年度柏原市一般会計補正予算（第5号）
- ◇平成20年度柏原市一般会計補正予算（第6号）
- ◇平成20年度柏原市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
- ◇柏原市議会事務局条例の一部改正について
- ◇柏原市議会会議規則の一部改正について（以上、原案可決）
- ◇平成19年度柏原市一般会計歳入歳出決算の認定について
- ◇平成19年度柏原市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定について
- ◇平成19年度柏原市国民健康保険事業特別会計（施設勘定堅上診療所）歳入歳出決算の認定について
- ◇平成19年度柏原市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ◇平成19年度柏原市老人保健医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ◇平成19年度柏原市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ◇平成19年度柏原市柏原駅西口地区市街地再開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ◇平成19年度柏原市市立柏原病院事業決算の認定について
- ◇平成19年度柏原市水道事業決算の認定について
- ◇平成19年度寝屋川南部広域下水道組合歳入歳出決算の認定について
- ◇平成19年度大和川下流域下水道組合歳入歳出決算の認定について（以上、閉会中継続審査）

意見書

第3回定例会で、議員提案により次の意見書1件が提出され、全会一致で可決し、関係行政庁等へ送付いたしました。

陳情等

○地方消費者行政の抜本的拡充および法制度の整備等を求める意見書

○交差点付近のカーブミラーの増設を求める要望

河内の地方政治をよくする会

○柏原市放課後児童会の改善についての陳情

柏原市放課後児童会連絡会

○消防車両の配備についての要望

堅上区長会会長・堅上消防団団長
（以上の陳情は理事者送付となりました）

○選挙権の年齢引き下げを求める要望
河内の地方政治をよくする会

○大阪府の4医療費公費負担助成制度見直しの中止を求める意見書採択についての陳情
大阪府歯科保険医協会

○東条地区の森組採石場跡地の整備に対する要望
（財）全日本リトル野球協会 柏原リトルリーグ代表 他4団体及び767名
（以上の陳情は議長預かりとなりました）

決算特別委員会を開会します

平成20年11月11日（火）・12日（水）に決算特別委員会を開会します。この特別委員会では平成19年度の各会計の歳入歳出決算を審査します。（開会はいずれも午前10時、傍聴可となっています）

第4回定例会（予定）

月 日	会 議 名	内 容
11月26日（水）	本 会 議	議 案 説 明
12月10日（水）	本 会 議	会派代表質疑・質問
11日（木）	本 会 議	会派代表質疑・質問
15日（月）	総務文教委員会	付 託 議 案 審 査
16日（火）	市民福祉委員会	付 託 議 案 審 査
18日（木）	建設産業委員会	付 託 議 案 審 査
25日（木）	本 会 議	各委員長報告、採決

※いずれの会議も午前10時からです。 ※日程は変更する場合があります。

編集後記

今号で私たち編集委員が編集する「市議会だより」は最後となりました。常に市民の皆さまと市議会をつなぐパイプ役として、読みやすい紙面づくりに努めました。十分ではなかったかと甚だ心残りではありますが、次の編集委員に今以上の紙面づくりを期待しながら、編集後記とさせていただきます。

編集委員

○藤森 洋一 ○山下亜緯子

奥山 渉 橋本 満夫

中村 保治 乾 一

（◎は委員長 ○は副委員長）